

## ヒートショックや窒息 冬の救急事故に注意

冬は入浴中の事故や餅による窒息事故が増加します。日頃から予防を心掛け、万が一に備えましょう。消防局では、毎月応急手当講習会を開催しています＝**囲み**＝。詳しくは、市消防局ホームページに掲載しています。

### ■「ヒートショック」入浴時は特に注意

ヒートショックとは、急激な温度変化により血圧が大きく変動することで起きる失神、心筋梗塞、脳卒中などの健康被害のことです。寒い脱衣所から熱いお湯に入る冬の入浴時に多発します。

#### 予防のポイント

- ①脱衣所や浴室を暖め、ほかの部屋との温度差を少なくする
- ②長湯や高温浴はしないようにする
- ③家族で声を掛け合う

### ■餅による窒息事故

年末年始は餅を食べる機会が増えます。高齢者は食べ物を飲み込む働きが低下しているので、注意しましょう。餅を喉に詰まらせた場合は、背中をたたくなどして吐き出させてください。

#### 予防のポイント

- ①餅は小さく切って、食べやすい大きさにする
- ②急がず、しっかりとかんでから飲み込む
- ③高齢者と食事するときは、家族など周りの人が注意する

消防局救急課(☎025-288-3260)

### 1月の応急手当講習会

困心肺蘇生法、AED使用法、窒息の対処法、ほか  
対象 10歳以上

12月6日(水)午前8時から電話で市役所コールセンター(☎025-243-4894)

講習	1月	開始時間	会場	定員(先着)
普通救命(3時間)	10(水)	9:00	西蒲消防署	各30人
	13(土)		中央消防署	24人
	17(水)	9:00	東消防署	各30人
	21(日)		江南消防署	
実技救命(2時間)	17(水)	9:00	救急ステーション	24人
救命入門(1時間半)	20(土)	10:00	北消防署	24人

## 防ごう交通事故 歩行者に優しい運転を

12月11日～20日の10日間、「寒空の 星より光る 反射材」をスローガンに冬の交通事故防止運動を実施します。ことしの運動の重点は、①飲酒運転の根絶②横断歩行者の保護③冬道の安全走行の3点です。

市内では11月15日現在、交通事故で11人が亡くなり、そのうち6人が65歳以上の高齢者でした。また、亡くなった人のうち8人が歩行中・自転車乗用中の事故でした。

降雪など気候の悪化や飲酒機会の増加など、年末にかけて交通事故の多発が懸念されます。運転者は歩行者の安全に配慮し、歩行者自身も事故に遭わないよう十分に注意しましょう。

### 飲酒運転は絶対しない、させない

飲酒運転は悪質な犯罪行為です。酒を飲む時は車で行かない、酒を飲まない運転手を決めるなど「飲酒運転をしない、させない」環境づくりを徹底しましょう。

### ライトの早期点灯など 歩行者の早期発見を

運転者は早めにライトをつけたり、上向き下向きをこまめに切り替えたりするなど、歩行者の早期発見に努めましょう。

歩行者は夜行反射材を活用して、自らの存在を知らせましょう。市民生活課安心・安全推進室(☎025-226-1113)

# 除雪特集 雪に備えて 快適な冬の暮らしを

各区の除雪計画路線図などは、きょうの区役所だよりに掲載しています。

記事の問い合わせ…土木総務課(☎025-226-3017)  
除雪計画に関する問い合わせ…区役所建設課

### 除雪本部を設置

市除雪本部を12月1日に設置しました。国や関係機関と連携しながら道路除雪を行います。限られた時間で除雪を行うため、皆様のご協力をお願いします。

### 悪天候時の運転に注意

地吹雪などが発生した場合は幹線道路を利用しましょう。平成21年度の豪雪では、幹線道路の抜け道となった農道で地吹雪が発生し、視野不良や吹きだまりで動けなくなった車が多く発生しました。

### スノーポールの通年設置

除雪車や通行する車の路肩の目安として設置するスノーポール＝写真＝は、これまで春先に撤去してしまっていました。今年度からは、コスト低減の一環として一部の区間については撤去をせず、年間を通して設置する取り組みを実施します。



### 市の除雪出動基準

除雪の出動基準は「除雪計画路線」が下記の基準に達した場合です。

- 車道 1日の交通量がおおむね2万台以上の国県市道(笹出線や弁天線など)…5cm以上の積雪
- そのほかの国県市道…10cm以上の積雪
- 歩道 20cm以上の積雪

### 大雪の時は公共交通機関の利用を

大雪の時は、雪で車線が狭くなり、自家用車の利用は交通渋滞に拍車をかけます。できるだけ電車やバスなどの公共交通機関を利用しましょう。

### 降雪期のバス運行

降雪期の路線バスの運行を確保するため、本市と新潟交通株式会社との連携により非常時運行体制を実施する場合があります。

これは、豪雪時に道幅が狭くなるなど、安全・確実な運行体制がとれない時に、近くの幹線路線に迂回して運行するものです。

豪雪時の運行路線などについては、同社ホームページで確認するか問い合わせください。

新潟交通バスセンター案内所(☎025-246-6333)

### 歩道除雪 ボランティア団体を募集

大雪の際に、児童・生徒の安心・安全な通学路を確保するため、地域の歩道をボランティアで除雪してくれる団体を募集しています。参加団体には活動実績に応じて奨励金を支払います。

また、上記団体を対象に、希望する団体へハンドガイド式小型除雪機械の購入費の一部を補助します。

対象 地域コミュニティ協議会、自治会・町内会、PTA、ほか  
区役所建設課

### 災害級の大雪発生時 大雪相談窓口を開設

災害級の大雪が発生した際に、大雪についての相談窓口を区役所健康福祉課に開設します。

開設する場合は市ホームページや報道機関を通じて発表します。

利用対象者 除雪が困難な一人暮らしの高齢者、高齢者のみの世帯、障がい者がいる世帯

区役所健康福祉課

### 大雪対応ボランティアの登録者を募集

大雪相談窓口の開設に合わせて区社会福祉協議会に設置する「大雪対応ボランティアセンター」では、玄関口の除雪などを行うボランティアを募集しています。

登録についてなど詳しくは問い合わせください。

市民生活課(☎025-243-4370)

### 除雪作業中の事故に注意

屋根の雪下ろし中の転落など、除雪作業中の事故が毎年発生しています。除雪作業は以下の点に注意して、無理をせずこまめに休憩をとり、安全に行いましょう。

- ①除雪は家族や隣近所など2人以上で行う
- ②作業前に軒下、流雪溝、水路など危険箇所を確認する
- ③高所作業時ははしごをしっかりと固定し、命綱やヘルメットなどを着用する

### ■車周りの除雪も注意

排気口が雪でふさがれた状態でエンジンをかけると、排気ガスが車内に流入し、一酸化炭素中毒になる危険性があります。除雪作業中は車のエンジンをかけずに行う、除雪時に頭痛やめまいがした場合は、直ちに新鮮な空気が吸える場所に移動するなど注意しましょう。

消防局救急課(☎025-288-3260)

### 除雪作業に関する Q & A

#### Q1. なぜ除雪車は玄関前に雪を置いていくの？

A1. 市では道路上の雪を道路の脇にかき分ける除雪を基本としています。限られた除雪車と時間で車両通行を確保するため、雪は玄関前や車庫前の路上に残る場合があります。市民の皆さんによる処理をお願いします。

#### Q2. なぜ雪を道路に出してはいけないの？

A2. 道路に雪を出すと、わだちの原因になり、運転手がハンドルをとられ大変危険です。また、除雪作業に合わせて道路に雪を出すと、作業が大幅に遅れます。絶対にやめましょう。

#### Q3. なぜ除雪車がなかなか来ないの？

A3. 除雪距離は非常に長く、除雪車の台数に限りがあります。また、道路が狭かったり、障害物が多かったりすることから、除雪車1台の作業時間は約5、6時間かかります。明け方からの降雪や大雪の際は、通勤・通学の時間に間に合わない場合があります。ご理解をお願いします。

#### Q4. なぜ雪かきした後、除雪車でかき分けた雪が置かれる場合があるの？

A4. 除雪作業は一晩かけて行うため、道路によって除雪する時間が異なります。除雪車の構造や限られた時間での作業となるため、各家庭での雪かきの状況に合わせた除雪はできません。

### ご協力ください

#### ■除雪車に注意

除雪車両との接触事故を防ぐため、除雪作業中は周辺道路上での作業や雪下ろしは避けましょう。

路上駐車は除雪作業の妨げになり、地域全体の迷惑になります。絶対にやめましょう。

#### ■道路上の鉄板撤去

車を乗り入れるために鉄板などを道路に設置している所では、除雪車が鉄板をはね上げる危険性があります。撤去してください。

段差を解消するための切り下げ工事は、区役所建設課へ相談してください。

#### ■竹、樹木などの処理

降雪のため、竹や樹木の枝などが道路上に垂れ下がり、除雪作業に支障が出ることがあります。降雪前の処理をお願いします。